

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アステリズム		
○保護者評価実施期間	2026年2月12日		～ 2026年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	児童17人 (15世帯)	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年3月2日		～ 2026年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別支援計画をもとに、子供たちが将来社会に出た時に必要なスキルを身につけるために、日々の活動プログラムの内容を工夫し、立案・施行・改善を繰り返しながら行っております。	・モニタリングの際には、利用児の学校での困りごとや頑張りたいと思っていることはあるかなど、要望の聞き取りを行い、保護者の方には、学校やご家庭等施設外で過ごしている時のお子さまの様子についてヒアリングをしたり、ご要望を伺っております。	・利用児及びご家族の要望や意向の確認をしニーズを検討し個別支援計画を作成してまいります。小さな目標を細かく設定していくことで、達成感を体験してもらえるように、利用時に応じた支援を徹底して行ってまいります。
2	・自分で考え、自分で決断できるよう、意思決定支援に取り組んでいます。	・自分自身で考えて行動できるような声掛けやアドバイスを意識的に行っており、小さなことでも自分で選ぶこと、その理由について考えることを大切に、より良い支援が出来るように心掛けています。	・職員間で支援の質を話し合い、高め合って、子供たちが混乱しないように支援の統一化ができるように心がけていきます。また支援過多による経験不足がないよう、失敗する権利も大切にしています。
3	・中学生以上の活動プログラムの充実を図っていきます。	社内に就労継続支援事業所が併設されている強みを活かし、畑作業や軽作業などの就労体験を積極的に取り入れています。	・利用児及びご家族の方とのコミュニケーションを図り、地域企業・店舗等に働きかけ、様々な経験ができるよう企画し、計画内容や意図に沿ったプログラムを作成、更新していき支援の実施をしていきます。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の支援の質の向上を図るための外部による研修等が不十分である。	内部研修だけでは内容に偏りがあり限りがあるが、外部研修へ参加する機会が保障されていないのが現状。	・職員の興味のある分野を中心に少人数での外部研修参加を促し、情報共有する形を取り入れ職員間での周知に努めていく。 ・オンラインでの研修も積極的に取り入れ、レポートや記録にて継続した質の向上を図っていく。
2	・定期的な保護者交流会の機会を設けられていないこと	・共働きの家庭やひとり親の家庭も多く、状況も複雑で開催が難しい。	・保護者の方へニーズチェックを行い、希望に応じて保護者交流会を開催する。
3	・地域の他の子どもたちと交流する機会が少ないこと	・児童館や地域の学童保育クラブなどの十分な連携が図れていないのと、安全面を考慮したうえで利用者と地域の子どもたちの双方が楽しめるような企画を考えることが難しい。	・児童館・地域の学童保育クラブの方と連携を図り、双方の利用者が安全に楽しめるような企画を考えていく。 ・大きなイベントではなく、施設間での交流などを通して徐々に関係性を構築していく。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表：令和 8年 4月 13日

事業所名 アステリズム 保護者等数(児童数) 15(17) 回収数14 割合 93%

	チェック項目	はい		いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	86%	7%	0%	7%	室外活動もあり、運動できる空間を作ってくれています。	今後も体をしっかり使える場所、静かに過ごせる場所に確保しながら活動を支援していきたいと思えます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	71%	0%	0%	29%		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	57%	7%	0%	36%		
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	100%	0%	0%	0%	モニタリングをしっかりと行って、計画書にも反映してくれています。	ご本人さま、保護者さまのニーズをしっかりとくみ取り、専門性をもって計画立案に取り組みたいと思えます。
	5 <u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	93%	0%	0%	7%	日頃できない体験の場を提供してくれてうれしいです。	小さなうちに様々な体験を積めるよう計画しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	50%	0%	0%	50%		
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%	母親の気づかないことなども、先生には話したりして、心強いです。	少しの変化にも敏感に、何か気づいたことがあればすぐにご連絡しています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%	0%	0%	0%		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14%	0%	36%	50%		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	86%	0%	0%	14%		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	93%	0%	0%	7%	時間外ではメッセージ機能を使わせていただき、急な連絡にも対応してもらい感謝しています。	連絡帳、電話、メールを使用し、こまめな連絡を心がけています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	79%	0%	0%	21%	活動の様子がわかる写真が楽しみです。	活動の様子は写真を入れてお伝えしています。また翌月の活動内容を利用予定表で確認できるようにしています。
14 個人情報に十分注意しているか	93%	0%	0%	7%			

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	79%	0%	0%	21%		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	86%	0%	0%	14%		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	100%	0%	0%	0%	①みんな仲良くしてくれてうれしいです。 ②落ち着ける場所、土曜のお出かけとして安心、楽しく通えています。	今後も楽しく通所していただけるよう、活動内容、支援技術ともに幅を広げたいと思います。
	18	事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%	感謝しています。本当にいつもありがとうございます。	今後も保護者さま、ご本人さまの安心・安全を第一に、満足していただける運営を継続していきます。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 8年 4月 13日

事業所名 アステリズム

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		
	2 職員の配置数は適切である	83%	17%		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	33%	67%		トイレ、学習ルーム入り口に段差あり。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%	0%	不定期ではあるが職員会議を適宜行い、業務内容や支援内容について話し合いと情報共有を行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	33%	67%		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	67%	33%	研修の情報を回覧して参加を促す。	今後は積極的に、事業所内研修を企画・実施する。
適切な	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	制作・鑑賞・体を使った活動・体験などの項目に分け、偏りのないように企画している。	中高生向けのプログラムを検討中。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	平日は学習支援が主となり自由時間が少ないため、休日や長期休暇で普段取り組みにくい個別の課題に時間をかけるようにしている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		

支 援 の 提 供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	イベントや所外活動時は企画書を作成し、事前に自分の役割やスケジュールが把握できるようにしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	支援記録の内容を確認しながら、トラブルや気づいたことについて情報共有を行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	記録内容についてわからないことなどは直接支援を行った職員に聞き取りを行う。また支援がうまくいかなかったときは、その理由、今後の方針について話し合っている。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%	0%	送迎時に情報共有を行い、送迎について何かあればすぐに連絡している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	50%	50%		現時点で受け入れ無し。受け入れの際は連携を図る。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	33%	67%		現時点で移行の経験なし。今後発生した場合は、適切に情報提供を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	67%	33%		研修については情報収集し、職員に共有、参加を促している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	17%	83%		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	0%	100%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	小さなことでも必ず報告し、今後の課題や今の状況について情報共有を行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	相談があった際はわかる範囲で情報を提供している。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	入所時と適宜必要な時に説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	17%	83%		

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情があった際は、対応した職員に聞き取りを行い、問題があればすぐに謝罪し、対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	活動内容を写真入りで会報にして配布。翌月の活動内容を利用予定表としてお渡ししている。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	入所時、入社時に説明。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	年に2回防災訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	33%	67%		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		